

# コメ先物 実需者向けレポート〔No.18〕

大阪堂島商品取引所

〔公表日：2013.09.06〕

# 項目

## 1 現物受渡し等

- 1.1 本月の現物受渡し
- 1.2 現物受渡し(過去データ)
- 1.3 受渡制度等について

## 2 ヘッジ(価格変動リスクに備える)

- 2.1 ヘッジの概要
- 2.2 ヘッジ例

## 3 現物価格と先物価格

- 3.1 東京コメ(標準品現物価格と先物価格)
- 3.2 大阪コメ(標準品現物価格と先物価格)

## 4 価格調整表の使い方

- 4.1 受渡値段の算出
- 4.2 現在価値の算出

作成基準日:2013年8月30日

公表日:基準日の5営業日後

## 参考

### 参1 取引要綱

### 参4 米穀の期日受渡しに関するタイムスケジュール

### 参5 米穀の早受渡しに関するタイムスケジュール

\*本レポートに関するデータは一般紙、業界紙等の媒体を通じて公表されているものを一部使用しております。又、掲載情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性を保証するものではありません。利用者がレポートの情報をを用いて行う一切の行為について本所は何ら責任を負うものではありません。記載されている内容は作成時におけるものであり、将来のいて事前の予告なしに変更される場合がありますのでご了承ください。

# 1 現物受渡し等

## 1.1 本月の現物受渡し

### 東京コメ

受渡月	期日 受渡し	早受渡し	合意早 受渡し	銘柄	産地	年産	枚数	玄米重量	備考
2013年	8月	—	—	—					

### 大阪コメ

受渡月	期日 受渡し	早受渡し	合意早 受渡し	銘柄	産地	年産	枚数	玄米重量	備考	
2013年	8月	✓		コシヒカリ	福島県会津産	2012	3枚	9 <sup>ト</sup>		
		✓		コシヒカリ	福島県会津産(2等)	2012	1枚	3 <sup>ト</sup>		
				✓	コシヒカリ	山形県産	2012	4枚	12 <sup>ト</sup>	2013年9月限うち 5.7t(95俵)は1等特裁米
				✓	ふさおとめ	千葉県産(未検)	2013	1枚	3 <sup>ト</sup>	2013年9月限

注1.取引枚数1枚は、東京コメ6<sup>ト</sup>、大阪コメ3<sup>ト</sup>である。

注2.特に記載がない限り1等米である。

# 1 現物受渡し等

## 1.2 現物受渡し過去データ(東京)

東京コメ

受渡月	期日 受渡し	早受渡し	合意早 受渡し	銘柄	産地	年産	枚数	玄米重量	備考
2012年	9月	✓		コシヒカリ	新潟県産	2011	10枚	60 <sup>ト</sup>	
	10月	✓		コシヒカリ	新潟県産	2011	6枚	36 <sup>ト</sup>	
		✓		コシヒカリ	新潟県産	2012	12枚	72 <sup>ト</sup>	
		✓		コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	18枚	108 <sup>ト</sup>	
	11月	✓		コシヒカリ	新潟県産	2012	8枚	48 <sup>ト</sup>	
		✓		コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	18枚	108 <sup>ト</sup>	
12月	✓		コシヒカリ	新潟県産	2012	4枚	24 <sup>ト</sup>		
2013年	1月		✓	コシヒカリ	福島県中通り産	2012	2枚	12 <sup>ト</sup>	2013年1月限
		✓		コシヒカリ	新潟県産	2012	2枚	12 <sup>ト</sup>	
	2月	✓		コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	2枚	12 <sup>ト</sup>	
	3月	✓		コシヒカリ	新潟県産	2012	2枚	12 <sup>ト</sup>	
		✓		コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	10枚	60 <sup>ト</sup>	
	4月	✓		コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	4枚	24 <sup>ト</sup>	
	5月	—	—	—					
	6月	—	—	—					
7月	—	—	—						
8月	—	—	—						

※直近12カ月間の受渡し状況

# 1 現物受渡し等

## 1.2 現物受渡し過去データ(大阪)

大阪コメ

受渡月	期日 受渡し	早受渡し	合意早 受渡し	銘柄	産地	年産	枚数	玄米重量	備考	
2012年	9月	—	—	—						
	10月	✓			コシヒカリ	新潟県産	2011	28枚	84 <sup>ト</sup>	
		✓			コシヒカリ	新潟県産	2012	4枚	12 <sup>ト</sup>	
			✓		コシヒカリ	石川県産	2012	16枚	48 <sup>ト</sup>	2012年10月限
11月	✓			コシヒカリ	新潟県産	2012	25枚	75 <sup>ト</sup>		
12月	✓			コシヒカリ	新潟県産	2012	1枚	3 <sup>ト</sup>		
2013年	1月	✓			コシヒカリ	新潟県産	2012	2枚	6 <sup>ト</sup>	
		✓			コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	2枚	6 <sup>ト</sup>	
	2月	✓			コシヒカリ	新潟県産	2012	3枚	9 <sup>ト</sup>	
		✓			コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	1枚	3 <sup>ト</sup>	
				✓	コシヒカリ	福島県中通り産	2012	8枚	24 <sup>ト</sup>	2013年3月限
	3月			✓	ひとめぼれ	岩手県産	2012	3枚	9 <sup>ト</sup>	2013年4月限
				✓	コシヒカリ	福島県中通り産	2012	4枚	12 <sup>ト</sup>	2013年4月限
				✓	コシヒカリ	新潟県産	2012	1枚	3 <sup>ト</sup>	2013年4月限 うち、1.5tは2等
	4月			✓	コシヒカリ	茨城県産(未検)	2012	4枚	12 <sup>ト</sup>	2013年4月限
		✓			コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	1枚	3 <sup>ト</sup>	
	5月			✓	コシヒカリ	福島県中通り産	2012	4枚	12 <sup>ト</sup>	2013年6月限
				✓	コシヒカリ	茨城県産(未検)	2012	1枚	3 <sup>ト</sup>	2013年6月限
				✓	つや姫	山形県産	2012	4枚	12 <sup>ト</sup>	2013年6月限
	6月	✓			コシヒカリ	新潟県産	2012	4枚	12 <sup>ト</sup>	
				✓	コシヒカリ	福島県浜通り産	2012	4枚	12 <sup>ト</sup>	2013年7月限
				✓	ひとめぼれ	山形県産	2012	4枚	12 <sup>ト</sup>	2013年7月限 うち 5.01t(83.5俵)は特別栽培米
				✓	ひとめぼれ	岩手県産	2012	4枚	12 <sup>ト</sup>	2013年8月限
				✓	コシヒカリ	茨城県産(2等)	2012	4枚	12 <sup>ト</sup>	2013年8月限 2等特栽米
	7月	✓			コシヒカリ	福島県会津産	2012	8枚	24 <sup>ト</sup>	
		✓			コシヒカリ	福島県会津産(2等)	2012	4枚	12 <sup>ト</sup>	
✓				コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	1枚	3 <sup>ト</sup>		
				✓	あきたこまち	秋田県産	2012	3枚	9 <sup>ト</sup>	2013年8月限
				✓	あきたこまち	秋田県産(2等)	2012	1枚	3 <sup>ト</sup>	2013年8月限
8月			✓	コシヒカリ	福島県産中通り産	2012	4枚	12 <sup>ト</sup>	2013年8月限	
	✓			コシヒカリ	福島県会津産	2012	3枚	9 <sup>ト</sup>		
	✓			コシヒカリ	福島県会津産(2等)	2012	1枚	3 <sup>ト</sup>		
				✓	コシヒカリ	山形県産	2012	4枚	12 <sup>ト</sup>	2013年9月限 うち 5.7t(95俵)は1等特栽米
				✓	ふさおとめ	千葉県産(未検)	2013	1枚	3 <sup>ト</sup>	2013年9月限

※直近12カ月間の受渡し状況

# 1 現物受渡し等

## 1.3 現物受渡し制度等(解説)

### 【期日受渡し】

期日受渡しは、受渡しの基本的な方法で、取引所が指定する営業倉庫が発券する「倉荷証券」を用いて行います。渡方は、取引所に「倉荷証券」を持ち込み、受方は取引所に「受渡代金」を納め、取引所がこれらを仲介して、受渡しを完了させます。

### 【早受渡し】

早受渡しとは、受渡日以前でも、取引所に希望条件(年産・産地品種銘柄・等級等)を申し出ることによって、受渡しを可能(早受希望・早渡希望)にする制度です。この希望条件は公表され、応諾する方があれば、受渡しが成立します。(受渡しの流れは期日受渡しと同様です。)

### 【合意受渡し】

渡方と受方が合意することを条件に、双方の責任の下、自由に受渡しをする制度です。この制度を利用すれば、倉荷証券以外の受渡方法や、受渡供用品以外のコメを対象とするなど、双方が使い易い受渡条件の下で受渡しをすることが可能になります。

### 【合意早受渡し】

受方と渡方が合意することを条件に、新甫発会日の翌営業日から納会日の前営業日までのおよそ半年間にわたり、いつでも受渡しを行うことができる制度です。この制度を利用すれば、倉荷証券以外の受渡方法や、受渡供用品以外のコメを対象とするなど、双方が使い易い受渡条件の下で受渡しをすることが可能になります。

### 【EFP取引】

現物を扱う実需者は、市場外で行った現物売買契約をもとに、合意に基づくEFP取引の申し出(先物市場における同一価格、同一限月、同一数量の売注文及び買注文)を取引所に行うことで、先物市場での取引を成立させることが可能となります。

EFP取引は、(1)先物市場で効率的なヘッジ取引(又は市場離脱)を実現、(2)オーダーメイドの受渡しを実現する等、実需者にとっては非常に利便性の高いシステムです。

## 2 ヘッジ(価格変動リスクに備える)

### 2.1 ヘッジの概要

#### 【ヘッジ】

ヘッジとは、先物市場を利用することで、将来の価格変動による損失を最小限に抑えようとするリスクマネジメント手法の一つであり、いわば価格変動リスクに対する**保険機能**とご理解ください。

具体的には、在庫価値等の減少に備えるなら「売りヘッジ」、仕入れコストの高騰に備えるなら「買いヘッジ」で対応します。

現物市場と先物市場の損益を合計することでリスク相殺をすることが出来ます。

以下は、将来のコメ価格の下落リスクに備えた「売りヘッジ」を表しています。

現在	現物市場	先物市場
	(在庫価値) 16,500円	(新規売り) 16,500円
	(価格下落)	(価格下落)
将来	(販売価値) 14,500円	(買戻し) 14,500円
	-2,000円	+2,000円

※買いヘッジは、上記の逆となります。

納会を終えたばかり東京コメ2013年8月限のデータに基づき計算した、建玉1枚(=コメ6000kg)あたりの取引例となります。

もし「売りヘッジ」をしていれば...

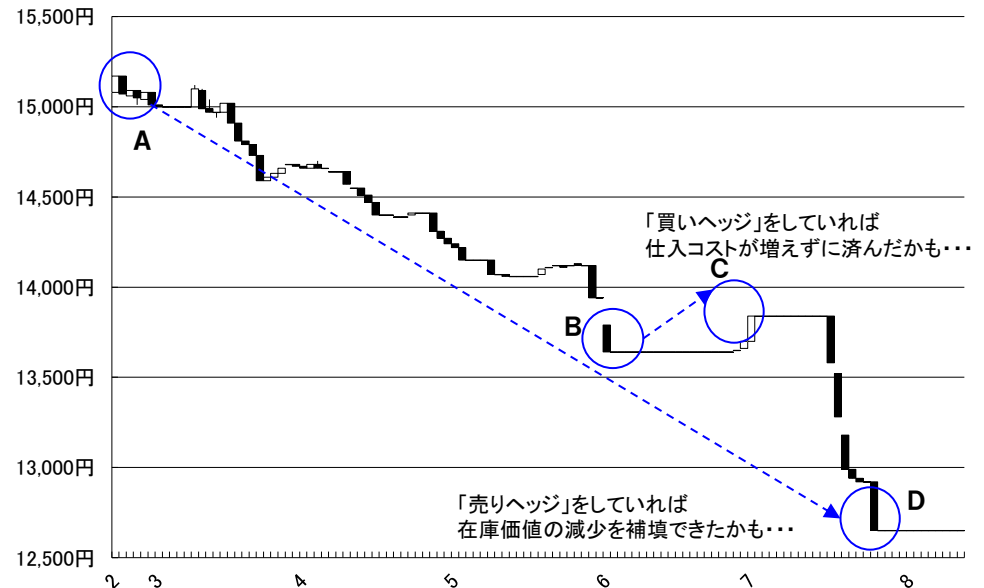
もし「買いヘッジ」をしていれば...

	2013年8月限
新甫発会値	15,080円
高値	15,170円
安値	12,650円
納会値	12,650円

日付(取引区分)	約定値
A 13.2.21 (新規売り)	15,170円
D 13.7.25 (買戻し)	12,650円
騰落率	-16.6%
決済差金 (1俵)	2,520円
A-B (1枚)	252,000円

日付(取引区分)	約定値
B 13.6.4 (新規買い)	13,640円
C 13.7.2 (転売)	13,840円
騰落率	1.5%
決済差金 (1俵)	200円
C-B (1枚)	20,000円

※1俵は60kgあたりの差益、1枚は6000kgあたりの差益のこと。

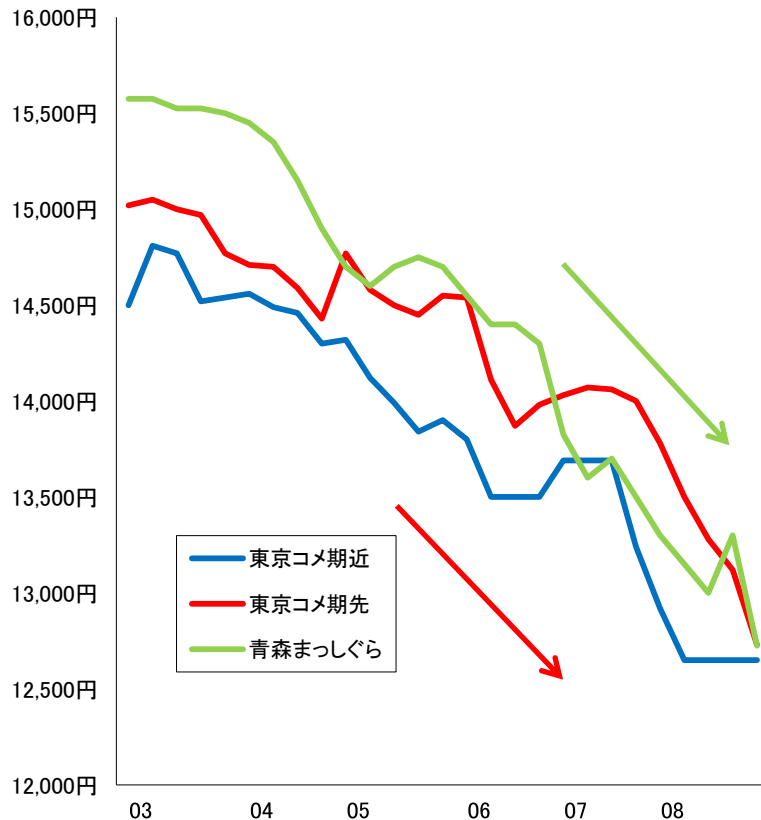


## 2 ヘッジ(価格変動リスクに備える)

### 2.2 ヘッジ例

東京コメは、全国のコシヒカリ及びコシ以外の本所指定のコメを受渡の対象としています。ここでは、コシヒカリ以外の現物相場(青森県産まっしぐら)と先物相場の関係性を見ながらヘッジシミュレーションを行うこととします。

青森まっしぐら



'13年2月～'13年8月の間の東京コメと青森まっしぐらの価格データ(週間中央値、27週分)をもとに関係性を見ていくこととします。

両者の価格相関は、東京コメ期近0.95、東京コメ期先0.93となっています。また、直近12週の期間騰落率は、青森まっしぐら-11.6%、東京コメ期近-6.3%、東京コメ期先-9.8%となっています。

左グラフ(価格推移)によると東京コメと青森まっしぐらのトレンドは近似しているように見えることから、青森まっしぐらの価格変動リスクに対し、コメ先物取引は一定のヘッジ機能があると考えられます。

下表は、'13年5月～'13年8月のデータ(17週分)をもとに作成した青森まっしぐらの売りヘッジ計算例となります。

	現物相場	先物相場	
	青森まっしぐら	東京コメ(期近)	東京コメ(期先)
'13年05月	14,600円	14,120円	14,580円
[第1週]	[在庫評価]	[売りヘッジ]	[売りヘッジ]
'13年08月	12,725円	12,650円	12,730円
[第4週]	[現物販売]	[差金決済]	[差金決済]
損益	-1,875円	1,470円	1,850円
騰落率	-12.8%	-10.4%	-12.7%

※買いヘッジは、上記の逆となります。

「青森まっしぐら」の売りヘッジに東京コメ先物を利用した結果・・・在庫価値の減額分(-1,875円)を先物差金(期近1,470円、期先1,850円)で補うことができました。

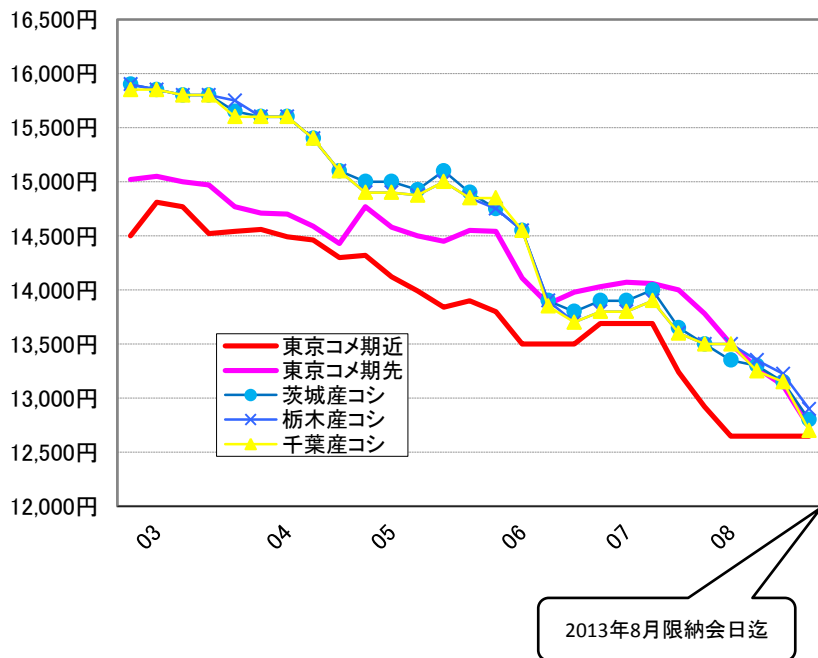
上記のヘッジ例は、コシヒカリ以外のコメのヘッジに東京コメが対応できるか否かを見ています。但し、任意のヘッジ対象品種銘柄と東京コメの関係性については、計測期間によって変化するため、直近の状況だけでなく、中長期的な観察が必要であると考えています。



### 3 現物価格と先物価格

#### 3.1 東京コメ(標準品現物価格と先物価格)

価格推移(週間)



直近の期間騰落率(基準: '13年8月第4週)

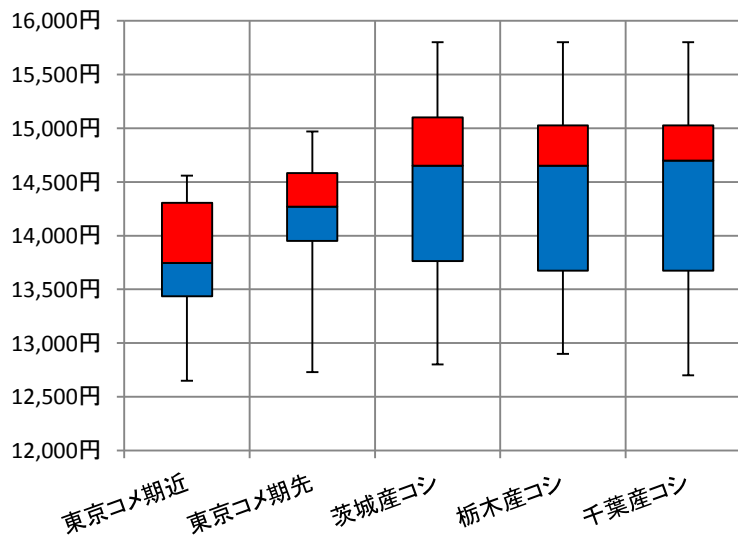
	4週	8週	12週	24週
東京コメ期近	0.0%	-7.6%	-6.3%	-12.9%
東京コメ期先	-5.7%	-9.5%	-9.8%	-15.0%
茨城産コシ	-4.1%	-7.9%	-12.0%	-19.0%
栃木産コシ	-4.4%	-6.5%	-11.3%	-18.4%
千葉産コシ	-5.9%	-8.0%	-12.7%	-19.6%

直近の価格推移(左上)によると、東京コメ期近は茨城コシ(標準品)より150円、栃木コシより250円、千葉コシ(標準品)より50円下に位置しています。東京コメ期先は茨城コシ(標準品)より70円、栃木コシより170円下に、千葉コシ(標準品)より30円上に位置しています。

ボックスプロット(右下)は、直近24週の価格(週間)データによるものです。24週データの50%は箱中にあり、データの散らばりは上下の線の長さに表示されています。現物と先物を比較すると、現物の方が散らばり範囲が広いことが確認できます。

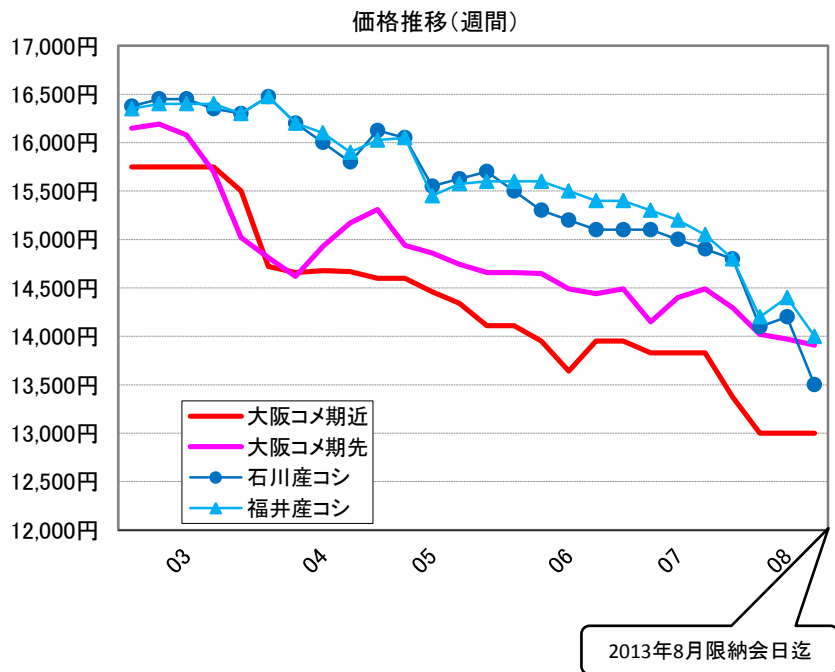
直近の期間騰落率(左下)によると、東京コメ期先、茨城、栃木及び千葉コシヒカリの騰落率(直近4週)は前月よりも下落幅が拡大してきていますが、東京コメ期近は縮小しています。

ボックスプロット



### 3 現物価格と先物価格

#### 3.2 大阪コメ(標準品現物価格と先物価格)



直近の期間騰落率(基準: '13年8月第2週)

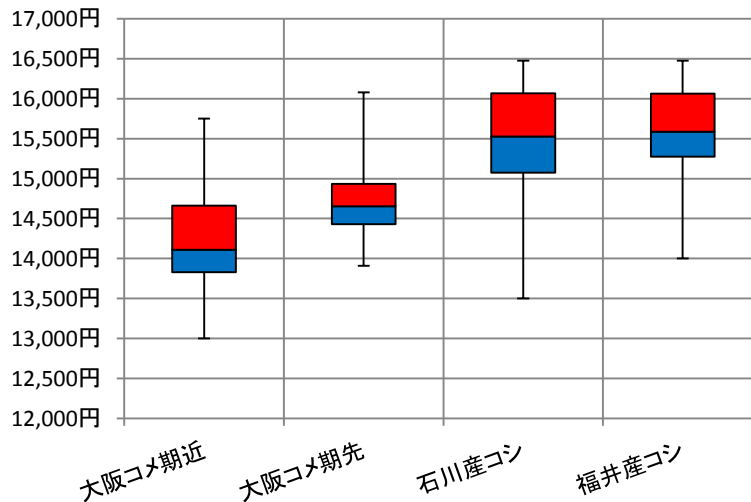
	4週	8週	12週	24週
大阪コメ期近	-2.8%	-6.8%	-7.9%	-17.5%
大阪コメ期先	-2.7%	-4.0%	-5.1%	-13.5%
石川産コシ	-8.8%	-10.6%	-12.9%	-17.9%
福井産コシ	-5.4%	-9.1%	-10.3%	-14.6%

直近の価格推移(左上)によると、大阪コメは石川コシ(標準品)に対しては、期近が500円下に位置し、期先は410円上に位置しています。福井コシ(標準品)に対しては、期近が1,000円下に位置し、期先は90円下に位置しています。

ボックスプロット(右下)は、直近24週の価格(週間)データによるものです。24週データの50%は箱中にあり、データの散らばりは上下の線の長さに表示されています。現物と先物を比較すると、期近については現物とほぼ同程度の散らばりになっていることが確認できます。

直近の期間騰落率(左下)によると、大阪コメ先物、石川及び福井のコシヒカリの騰落率(直近4週)は前月よりも、下落幅が拡大してきています。特に石川コシは-8.8%と大きく拡大しています。

ボックスプロット



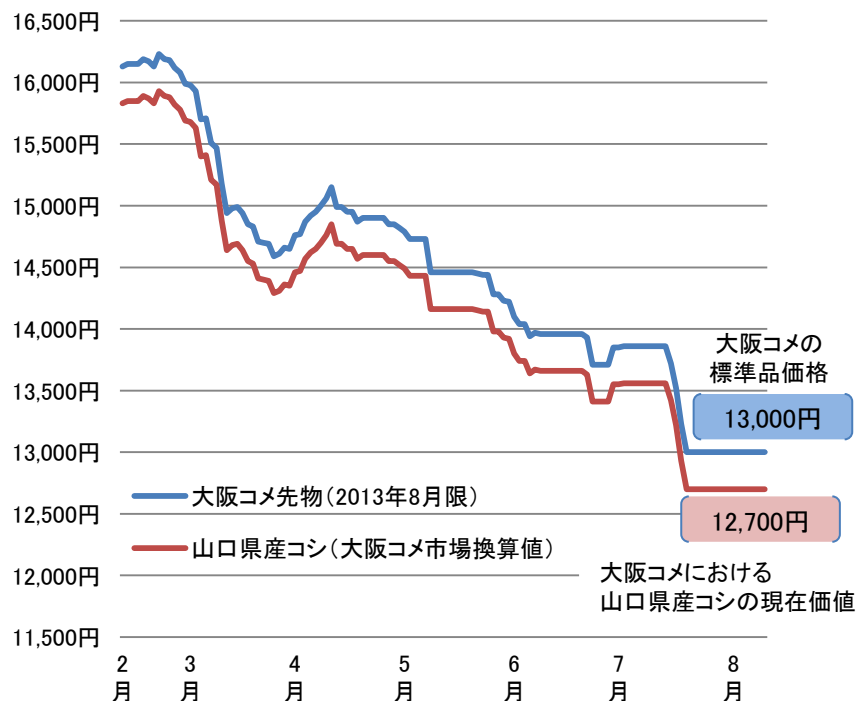
## 4 価格調整表の使い方

### 4.1 受渡値段の算出

大阪コメの先物価格を基に〇〇県産コシヒカリの価格(現在価値や受渡値段)を算出する。

- ・大阪コメの先物価格(60kgあたり)は、標準品を「石川県産及び福井県産のコシヒカリ」としています。
- ・先物取引は限月取引(最終期限がある取引)です。各限月の納会値段は標準品の受渡値段となります。
- ・標準品以外のコシヒカリを受渡する場合は、本所が定める価格調整表に則って受渡値段を決定します。
- ・例えば、「2012年(平24)年産1等・山口県産コシヒカリ」の受渡値段なら、大阪コメの納会値段から300円の減額をします

### 4.2 現在価値の算出



【参考】価格調整表より一部抜粋  
(平成24年産1等:調整額 a及び平成25年産1等:調整額 b)

東京コメ				大阪コメ						
産地	品種銘柄	調整額 a	調整額 b	産地	品種銘柄	調整額 a	調整額 b			
茨城	コシヒカリ	標準品	標準品	石川	コシヒカリ	標準品	標準品			
栃木				福井						
千葉				新潟		800	0			
福島 会津				福島 会津		100	0			
福島 中通り				福島 中通り		-1,000	-300			
福島 浜通り				福島 浜通り		-1,000	-300			
新潟				茨城		-800	-300			
富山				栃木		-800	-300			
石川				千葉		-800	-300			
福井				長野		-200	-300			
長野				富山		100	0			
その他府県				三重		-300	-300			
岩手				ひとめぼれ		-200	-200	滋賀	-300	-300
宮城						-200	-200	京都	-300	-300
秋田	あきたこまち	0	0	兵庫	-300	-300				
山形	はえぬき	-200	-200	鳥取	-300	-300				
北海道	ななつぼし	-500	-200	島根	-300	-300				
	きらら397	-500	-200	岡山	-300	-300				
青森	つがるロマン	-500	-200	山口	-300	-300				
	まっしぐら	-500	-200	熊本	0	0				
				その他府県産		-900	-300			

調整額 a: 2013(平25)年7月限~9月限迄適用  
調整額 b: 2013(平25)年10月限~12月限迄適用

調整額 a: 2013(平25)年7月限~9月限迄適用  
調整額 b: 2013(平25)年10月限~12月限迄適用

# 参 考

## 参1 取引要綱

### 東京コメ

### 大阪コメ

市 場	農産物市場	農産物市場
商 品	東京コメ	大阪コメ
標 準 品	コシヒカリ(茨城県産、栃木県産及び千葉県産)のうち、米穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律(平成21年法律第26号)に基づく記録がなされかつ産地情報の伝達が可能な米穀であって、農産物検査法に基づく検査規格水稲うるち玄米1等合格品	コシヒカリ(石川県産及び福井県産)のうち、米穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律(平成21年法律第26号)に基づく記録がなされかつ産地情報の伝達が可能な米穀であって、農産物検査法に基づく検査規格水稲うるち玄米1等合格品
受 渡 供 用 品	コシヒカリ(福島(中通り・浜通り・会津)、新潟、富山、石川、福井、長野、その他府県産)、ひとめぼれ(岩手、宮城)、あきたこまち(秋田)、山形はえぬき、北海道ななつぼし・きらら397、青森つがるロマン・まっしぐら	コシヒカリ(新潟、福島(会津・中通り・浜通り)、茨城、栃木、千葉、長野、富山、三重、滋賀、京都、兵庫、鳥取、島根、岡山、山口、熊本、その他府県産)
売 買 仕 法	システム売買による単一約定値段による競争売買(板寄せ)	システム売買による単一約定値段による競争売買(板寄せ)
限 月	6か月以内の各限月(連続6限月制)	6か月以内の各限月(連続6限月制)
納 会 日	当月限の属する月の20日(毎月20日、当日が休業日の場合は繰り上げる。)	当月限の属する月の10日(毎月10日、当日が休業日の場合は繰り上げる。)
新 甫 発 会 日	当月限納会日の翌営業日	当月限納会日の翌営業日
受 渡 日	納会日の5営業日後	納会日の5営業日後
受 渡 方 法	① 期日受渡し ② 早受渡し ③ 合意受渡し ④ 合意早受渡し	① 期日受渡し ② 早受渡し ③ 合意受渡し ④ 合意早受渡し
受 渡 場 所	① 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県及び北海道に所在する指定倉庫  ② 受渡当事者の合意に基づく受渡場所	① 大阪府、兵庫県、京都府及び奈良県に所在する指定倉庫  ② 受渡当事者の合意に基づく受渡場所
立 会 時 刻	前場、第1節(9:00)、第2節(10:00)、第3節(11:00) 後場、第1節(13:00)、第2節(14:00)、第3節(15:00) 計6回	前場、第1節(9:10)、第2節(10:10)、第3節(11:10) 後場、第1節(13:10)、第2節(14:10)、第3節(15:10) 計6回
取 引 単 位	6,000kg(100俵・200袋)	3,000kg(50俵・100袋)
受 渡 単 位	12,000kg(200俵・400袋) ※早受渡しについては6,000kg(100俵・200袋)も可。	3,000kg(50俵・100袋)
呼 値 及 び 呼 値 の 単 位	1俵(60kg) 10円刻み	1俵(60kg) 10円刻み
値 幅 制 限	① 値幅制限額:300円 ② 値幅制限額の拡大について 最終節に2限月以上(当限除く)、値幅制限に達した場合、値幅制限額300円に100円を加算した額400円を翌営業日の制限額とし、連続2営業日続いた場合は更に100円を加算した額500円とし、当該状況が継続する限り同様とする。翌日、最終節に2限月以上(当限除く)値幅制限額に達しなかった場合には、段階的に400円、300円と戻すものとする。  ③ 値幅制限の解除 当月限納会日の属する月の11日以降	① 値幅制限額:300円 ② 値幅制限額の拡大について 最終節に2限月以上(当限除く)、値幅制限に達した場合、値幅制限額300円に100円を加算した額400円を翌営業日の制限額とし、連続2営業日続いた場合は更に100円を加算した額500円とし、当該状況が継続する限り同様とする。翌日、最終節に2限月以上(当限除く)値幅制限額に達しなかった場合には、段階的に400円、300円と戻すものとする。  ③ 値幅制限の解除 当月限納会日の属する月の1日以降
ハナ上げ枚数	1番限は100枚以内、2番限以降は200枚以内。	1番限は100枚以内、2番限以降は200枚以内。
証 拠 金	㈱日本商品清算機構(JCCH)が決定。 <a href="http://www.jcch.co.jp/span/?po=1">http://www.jcch.co.jp/span/?po=1</a>	㈱日本商品清算機構(JCCH)が決定。 <a href="http://www.jcch.co.jp/span/?po=1">http://www.jcch.co.jp/span/?po=1</a>



